

---

# H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

---



2007年 2月

社団法人中小企業診断協会岡山県支部

海外ビジネス研究会





ソウルの鍾路区（チョンノグ）世宗路（セジョンノ）にある李氏朝鮮時代の正宮、「景福宮（キョンボックン）」は、ソウル市内にある古宮の中でも12万6337坪（416,990m<sup>2</sup>）と最も規模が大きく、また建築美に優れた宮殿と評価されるこの景福宮は、1395年（太祖4年）に創建され、現在は国の史跡第117号に指定されている古宮。また景福宮内には勤政殿（クンジョンジョン・国宝第223号）、慶会楼（キョンフェル・国宝第224号）、慈慶殿（チヤギョンジョン・宝物第809号）、慈慶殿十長生煙突（シッチャンセンクルットツ・宝物第810号）、交泰殿峨嵋山煙突（キヨテジョン・アミサンクルットツ・宝物第811号）、勤政門（クンジョンムン）と行閣（ヘンガッ・宝物第812号）、風旗台（ブンギデ・宝物第847号）、敬天寺跡十重石塔（キヨンチョンサジ・シッチュンソッタツ・国宝第86号）、法泉寺智光国師の玄妙塔（ポンチョンサ・ジグアングッサ・ヒョンモタツ・国宝第101号）などなど多くの文化財（国宝7点、宝物一国宝と重要文化財の間11点）があります。また敷地内には国立古宮博物館と国立民俗博物館もあり、ソウルに来たら必ず行っておきたい場所ナンバーワン！（記事：ソウルナビより）



## 韓国視察を終えて

第11回目を迎えた海外経済視察は、通貨危機から立ち直り、経済発展が著しい韓国を訪問しました。中小企業診断協会のメンバーが9名、企業人1名の10名が、JETROコリア、CJホームショッピング、商業施設などを視察しました。

韓国は1997年に起きた東アジア通貨危機を、金大中による開放政策にて外資からの投資による輸出型経済により脱出しました。現在では、現代自動車、サムソン、LG電子など自動車産業や電子産業にて競争力の高い企業が存在しています。

また、造船では世界一となっています。韓国企業の特色は大資本による集中投資、意思決定の速さがあげられます。

今回の視察はこのような経済発展を遂げている隣国を、中小企業の市場として捉えることができないかとの視点を持ち行いました。岡山から空路1.5時間でソウルに行くことができ、そこには約1000万の人口、周辺人口で2300万人にものぼり、韓国の人口の約半分を占めている大市場が存在しています。これは、東京の人口が約1200万人、東京圏人口3800万人と比較しても遜色ない市場です。日本の中小企業は、近隣に魅力的な市場があることを認識することが必要です。

今回も、視察団各員の方々にご執筆を頂き、ここに小冊子を編纂できる運びとなりました。診断協会の方々にもご一読戴ければ幸いです。

最後に、お世話になりました関係者の皆さんに熱くお礼を申し上げるとともに、団員の方々のますますのご健勝をお祈りいたします。

2007年2月



## <参加者リスト>

氏名	所属	氏名	所属
入矢和政	入矢コンサルタント事務所	平井克江	(有)アドデザイン
児玉健治	(有)オフィス・マッケンジー	藤井愛也	藤井診断士事務所
佐藤康之	監査法人トーマツ	増本好孝	瀬戸内市役所
谷 行治	(株)アルマ経営研究所	松田眞司	岡山県中小企業支援センター
中原富二雄	(株)アルマ経営研究所	山本督憲	(株)中国銀行

## <日 程 表>

	2006年	都市名	時刻	行動予定
1	11月23日(木)	岡山 岡山 ソウル	07:45 09:45 11:45 午後	[集合] [出発] 着後、市内へ JETROコリア訪問 夕食 (ソウル泊)
2	11月24日(金)	ソウル	午前 午後	CJ社視察訪問 昼食 市内観光(景福宮、ロッテ百貨店、商業地) 夕食懇談会 (ソウル泊)
3	11月25日(土)	ソウル 岡山	午前 午後 18:00 19:25	集合時間までフリー ホテルから空港へ

## <目 次>

☆「いっしょに歩んでいく国、韓国」	入矢コンサルタント事務所	入 矢 和 政 …… 1
☆「今年も行ってきました海外視察…マーケットとしての韓国ソウル」	(有)オフィス・マッケンジー	児 玉 健 治 …… 4
☆「CJHSとの打合せを通じて垣間見た韓国マーケット」	監査法人トーマツ	佐 藤 康 之 …… 7
☆「韓国経済事情調査団」	(株)アルマ経営研究所	谷 行 治 …… 10
☆「ソウルは日本といっしょの様な気がする。文字以外は。」	(株)アルマ経営研究所	中原富二雄……13
☆「韓国研修旅行のまとめ」	(有)アドデザイン	平 井 克 江 …… 15
☆「ソウル 体感・雑感」	藤井診断士事務所	藤 井 愛 也 …… 23
☆「韓国視察レポート」	瀬戸内市役所	増 本 好 孝 …… 26
☆「韓国視察報告」	岡山県中小企業支援センター	松 田 真 司 …… 28
☆「ソウルの静かな朝」	(株)中国銀行	山 本 督 憲 …… 30

# いっしょに歩んで行く国、韓国

함께 걸어 가는 나라, 한국

入矢 和政

## はじめに

平成18年11月23日から25日までの3日間、中小企業診断協会岡山支部の韓国視察団の一員としてソウルを訪問し、見聞きした最近の韓国状況について報告します。

訪問視察の主な目的は、韓国の社会、経済、文化の理解を深めることにより診断士の活動に役に立てること。そして、韓国は昨年訪問したベトナムとは違い岡山の中小企業の販売先として有望であるのかを調査するということも目的の一つでした。

韓国といえばまずは、「キムチ」、「焼肉」、「北朝鮮問題」、「韓国スター」、「韓流」、「エステ」、「プチ整形」、「竹島問題」、「歴史教科書問題」、「靖国問題」、「反日」などいろいろなキーワードが出てきます。とても近い国ですが國同士では揉めたりして少し気が抜けない国であるように感じていました。サッカーなどのスポーツで日本と対戦するときは、韓国の国民はかなり熱くなるようです。

## こんなところにも

まず、KOREAN航空の中で座席にある読み物でKOREAN航空の航路が書いている世界地図が載っていました。その地図では、「日本海」という海は無く「EAST SEA」と書かれていました。日本語読みで「東海」と呼ぶのでしょうか。ここにも日韓の問題があるのかと驚かされました。また韓国の方で日本から攻めてきた豊臣秀吉の名を聞いたときには、びっくりしました。

仁川空港に到着して円をウォンに交換しました。少し前なら1万円で10万ウォンだったのが73,000ウォンにしかなりませんでした。約10倍のイメージが8倍くらいになって、円の弱さを感じました。韓国の通貨(ウォン)が高いので、物価が高く感じられました。

## 自動車の国

仁川空港からソウル市内までバスで移動しました。日本と違い道路の車線が多く4車線ありました。ソウル市内でも4~5車線の道路があります。ハンドルは、

## H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

左ハンドルで、右側通行です。右折をするときは、信号が赤になっていても行くことができるようです。

タクシーにも乗りました。タクシーの料金は相乗りもOKらしく距離を走っても料金的には安く、初乗り1,900ウォンなので120円くらいでしょうか。但し、運転が荒く車間距離も短く、スピードも出し、ひやひやしました。自分がレンタカーで運転をしようとは思いませんでした。車は、現代自動車、KA I の車ばかりで日本車やその他の国の車はほとんど見られませんでした。現地の人聞くと、外車は高価なのでほとんど韓国車を購入することでした。



### 失業率は低いが

1日目にJETROに訪問をして韓国の状況を聞きました。

ソウルの人口は1千万、周辺地域もあわせると2千万の人口が集中しているということでした。

所得水準ですが大学卒の初任給は日本と同様か少し高いくらいという話でした。調べてみると中小企業と呼ばれる会社は初任給で年収約1,500万ウォン～1,800万ウォン（日本円で170万～210万円ほど）、



大企業は年収約2,500万ウォン～3,000万ウォン（280万～340万円ほど）となっているようです。また大企業は、業績に応じたインセンティブとして特別賞与が当たりするそうです。中小企業と大企業で給与も差があるので学歴社会となっているようです。

失業率が3.3%と日本より低い。韓国政府の公共投資で雇用創出に取り組んでいることなどで就業者数が増えているようです。但し、若年層の失業率が8.0%と高いのが問題のようです。後、日本より少子化となっているのには、驚きました。

知り合いの韓国の人聞くと共働きが普通であるようです。そうしないと生活ができないし、英語の塾代などの習い事を含めた子供の教育資金が結構かかるようです。

## I Tの国

日本の漫画カフェの前身となるP C カフェが数多くありました。そこでは、若者が集まってネットゲームをするということです。日本にあるインターネットカフェの先駆けみたいなものです。韓国らしいというかプロゲーマーという職業もあるようです。年俸は最高で2億ウォン（約2300万円）。大好きなゲームでお金が稼げてしまうこの職業を羨む韓国の若者が多いとも言われています。そのうち日本でもプロゲーマーが登場するかもしれません。



電車に乗ると携帯電話でメールを打つ姿は日本と同様によく見かけました。韓国では、デジタル放送を使ってTVドラマの予告を流しているようです。

2日目には、通信販売のCJ Home Shoppingに視察及び見学に行きました。その会社は、TVショッピングをメインで売上を上げている会社です。ケーブルTVのチャンネルを持っていて1日中TVショッピングを流しているとのことでした。見学した建物はスタジオが数セットあり、まさにTV局そのものでした。まだインターネット販売での売上高は少ないようでした。しかし、今後の少子化、高齢化また夫婦共働きが増えている中でしかも人口が減少することを考えるとTVショッピングだけではなく、インターネットに力をいれていくようでした。実際TVショッピングで放送しているものがそのまま、インターネットで放送していく同じものがパソコンで見ることができます。これもIT技術の進歩です。

インターネットでTVと同じようなマス情報を放送していますが、日本では、最近ではブログの個人日記による口コミから商品を売ったり、アマゾンみたいに個人の使用感、お買い得感をコメントでつけて販促したりといった個人からの発信をどのように活用するかということが考えられています。その辺りが韓国と日本のそもそもの違いなのかと考えてしまいます。

## さいごに

韓国国民の給与水準といい、物価といい韓国は十分にマーケットになると確信をしました。ソウル市内の人団といい集約されたマーケットであるかを感じました。韓国の方からは、日本製品は高級でものが高品質であるという印象をもたれているようでした。CJ Home Shopping側の方々も岡山の中小企業の製品に非常に興味をもたれたようです。今後のビジネスに発展をしていきそうでした。

最後に岡山県支部海外視察委員の皆様と藤井団長には心から御礼を申し上げます。

# 『今年も行つてきました海外視察 ・・マーケットとしての韓国ソウル』

마켓으로서의 한국 서울

児玉 健治

海外ビジネス研究会は、「岡山県の中小企業が海外進出をキーに成長回路を構築するための具体的な支援のカタチ」を追及してきました。そして、その一つの仮説として出した「岡山県の中小企業の優れた製品を韓国で売る」を検証するために、11月23日から25日の3日間、韓国ソウルへ視察に行ってきました。診断協会岡山県支部の恒例行事である海外視察をこれにあてたのです。



韓国はサラリーマン時代にも仕事でよく行ってたので事情もよくわかっているつもりでしたが、今回の視察で大きく様変わりしている韓国を目の当たりにすることとなりました。

変化の一番の要因は日本円に対する韓国の通貨「ウォン」高です。2年くらい前に韓国に行ってた頃は、1万円が韓国ではおよそ10万ウォン。ほぼ10倍すればよかったです。今回はウォンの為替レートが3割近く上がってしまい、1万円が7万3千ウォンにしかならないのです。なので、以前は3,000ウォンのコーヒーが300円だったのに今回は400円弱。1人前30,000ウォンの高級カルビが4,000円弱。で、さらに為替の影響だけでなく、物価も上がっているような気がしました。特に漢江(ハンガン)という川の南側の江南(カンナム)という地域は街並みも人の姿も行動も日本の東京とさほど変わらず、ものすごく洗練されていました。物価も日本とほぼ同じという感じです。これはけっこうつらいです。今回は食事をしてても買い物しても最後まで割安感を一度も感じることがありませんでした。

しか～し！我々は何もメシ食つて買い物するために韓国に行ったのではありません。岡山県の中小企業の優れた特長ある製品の新たな販売先、マーケットとしての韓国への可能性を探りに行つたのです。それはすぐに答えが出ました。「十分

可能性あり」です。

韓国のビジネスマンにも話を聞くことができ、確信することができました。根強い反日感情はたしかにあるのですが、日本の製品に対する興味も強いものがあるようです。

ソウルの人口は1千万、周辺地域もあわせると2千万の人口がギュッと集積し



ているきわめて効率的なマーケットと言えます。大企業にとっては2千万のマーケットは必ずしも魅力的でないかもしれませんのが、中小企業にしてみれば十分なマーケットサイズと言えるでしょう。購買力が上がり、物価もほとんど日本と同じのマーケットです。

岡山空港からソウルへは毎朝直航空便が出ており、東京出張感覚でソウルに行けます。これも大きいのではないでしょうか。

中小企業としては、まっさらな魅力的なマーケットであり、今までの国内でのマーケットシェアの勢力図を塗り替える、というか新たに描くこともできるのです。モノによってはヨーイドンで今までのシェア勢力図をチャラにしての戦いをすることができます。ブランド力をもつてしまえば日本での企業規模は関係ありません。



そう、地元中小企業の経営の支援、儲けるためのお手伝いをする中小企業診断士の出番です！また近々ソウルに行くことになるでしょう。ピビンバ、カルビ、韓定食、豆腐チゲは、全部うまかったし、なかなかいい買い物もできたのですが、メシ食って買い物するのではない、ビジネスのための韓国出張に行くのです。アジアの国はもはや日本企業の生産・加工拠点だけではありません。マーケットとしてのアジアにもっと注目すべきでしょう。特に東アジアは中小企業にとってすごく魅力的です。



## H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

あ、それと今回の大発見！コーヒーがうまくなつてました。以前は、薄くて甘くてつらいコーヒーだったので、今回はどこで飲んでも普通のコーヒーを飲むことができました。スタバや類似店が多数できたことで、普通のコーヒーのうまさに韓国の方たちもやっと気づいて覚えてくれたのでしょうか。よかったよかったです。ちなみに1杯400円くらいはします。高いところだと500円を超えますが。。。

2泊3日という短い視察でしたが、距離・時間の関係からか疲労感もほとんどなく、とにかく有意義な海外視察でした。

韓国という国、好きになったメンバーが多かったように思います。魅力的な国です。

以上



# CJHSとの打合せを通じて 垣間見た韓国マーケット

CJHS와의 협의를 통해서 옛본 한국 마켓

佐藤 康之

今回は、2006年11月24日にCJホームショッピング社(以下CJHS)を訪問しディスカッションの中で得られた情報、さらに2007年1月22日に再訪問の際に得られた情報から、同社の取り組みならびに韓国マーケットの状況を箇条書きでお伝えすることで、私のレポートとしたいと思います。

## 1. 韓国的小売業界に関する情報

- ◆ 小売業界におけるシェアは、1999年においては、デパート48.2%、GMS27.2%、コンビニエンスストア18.8%、ホームショッピング5.8%であったが、2005年には、デパート25.6%、GMS37.2%、コンビニエンスストア18.2%、ホームショッピング18.8%となっている。

## 2. CJHSに関する情報

- ◆ CJHSで扱っているファッショング用品については、メーカーは韓国企業だが、生産はほとんど中国でおこなっているもの。家具についても中国産が多い。食品についてはほとんどが韓国産。
- ◆ TVショッピングは「安い」というイメージが大きい。また、GMSと同じ価格であっても、いわゆる「オマケ」をつけ量を多くすることで販売量が伸びている。

## 3. 各分野におけるマーケット動向と岡山県内企業の製品・商品に対する感想

### a. 化粧品分野「無添加美容オイル」について

- ◆ 無添加の美容オイルや化粧水は韓国でも大変人気があり、ブランドもの、ノンブランドのものそれぞれ市場に溢れている。
- ◆ アトピーに対して効果的のことだが、韓国では「アトピー」をはじめとした病名を、テレビショッピング、ネットで体験談も含めて一切使はず、CJHSとしては扱いづらい商材の一つといえる。

b. 化粧品分野「無添加美容石鹼」について

- ◆ 石けんは無添加のものを含めて種類が非常に多く差別化が難しい
- ◆ 使用感に基づいて評価されるこの手の商材は、テレビショッピングでは商品の良さがなかなか伝わらない。
- ◆ 手作りに近い製法で作られた商品に対しては、支持する層が多いのも確かだが、過去の経験から言うとテレビショッピングではなかなか反応がでない。

c. 日用品分野「有害物質を含まない虫除けスプレー（人間用）」

- ◆ 有害物質を含まないということで日本では子ども向けマーケットで好評を得ているとのことだが、韓国において虫除けは、釣りや登山をする人など非常に限られた人しか使わないものであり、それを子どもに使うことは考えたこともない。
- ◆ 虫除けスプレー自体は2年前にCJHSでオンエアを検討したことがあるが、マーケティング段階で市場は非常に狭いということで結果的に断念した経緯がある（ただし2年経過した現在は状況が変わったかもしれない）ので再調査してみたい。
- ◆ 虫除けではないが、除菌消臭スプレーの「ファブリーズ」が先日韓国マーケットに持ち込まれ、家庭での利用が広がっている。

d. ペット用品分野「有害物質を含まない虫除けスプレー（ペット用）」

- ◆ 韓国でもペットへの関心は高まっているが、現時点では如何せん市場が小さいのでCJHSでペット関連商材を取り扱うかどうかについては我々も悩んでいる。
- ◆ とは言っても、ペット用品とシルバー用品はいつかはやらないといけない市場なので、今は関心をもって調査している段階である。
- ◆ 今回の商品に関して言えば、ペットに対して虫除けを使う発想が韓国ではなく、さらにペット用の臭い消しの商品は既に存在するので差別化が非常に難しいと思う。

e. 食料品分野「原料にこだわった醤油」

- ◆ 百貨店では日本の高級食材・調味料が富裕層に買われているので、品質が高い商品は百貨店に持ち込めばきっと取り扱われる商材になると思う。
- ◆ 今回の醤油は香りが非常によく、韓国で流通している醤油とはいい意味で明らかに違う。
- ◆ 食料品をCJHSもしくはネットで扱う場合は、「百貨店よりも安くスーパーよりもちょっと良い」という訴求が多いので、高級路線である今回の商品は残念ながら扱いづ

## H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

らく、その面からも明らかに百貨店向きだと思う。

### f. 健康食品分野「黒酢クエン酸飲料」

- ◆ 韓国では昨年から酢が大きなブームになっており、高級な酢は百貨店で2万W(約2500円)前後で販売されている。
- ◆ CJHSTでもストレートタイプではなく水で薄めるエキスタイルの酢を昨年扱ったが、実績は目標の1/7と全く振るわらず、市場は確実にあるがどう訴えればいいのか試行錯誤しているところ。
- ◆ 今回紹介してもらった商材は、こんなに飲みやすい酢は初めてであり、色も鮮やかで非常に訴求力が高いと思う。

### g. 健康食品分野「青汁」

- ◆ 2~3年前に日本からはいってきてTVショッピングでも取り扱ったが結果は大失敗であった。
- ◆ 失敗の原因としては、日本の青汁は韓国にすでにあったものに比べて高価(3ヶ月分で15万W)であったにも関わらず、品質などについて消費者に対してきちんと差別化できなかつたことが考えられる。
- ◆ 青汁で失敗した後、クロレラを取り扱ったら大ヒットしたが、今は衰退期に入った。
- ◆ 日本からの青汁自体は、現在はチャネルを訪問販売に切り替えて数社が展開しているが苦戦しているようだ。

以上



# 韓国経済事情調査団

한국 경제 사정 조사단

谷 行治

海外視察委員会では藤井愛也氏を団長とし10名にて韓国経済事情調査団を結成し、平成18年11月23日（木）～11月25日（土）2泊3日でソウルを中心とした視察を行いました。参加者がレポートを提出し「ソウル視察報告書」としてまとめる予定ですが、ここでは視察行程などと合わせ特記事項を報告したいと思います。

視察第一目は、ソウル到着後 J E T R O コリアに訪問し海外投資アドバイザーの小高一男氏より、韓国経済事業についてレクチャーを受けました。1997年のアジア通貨危機を韓国は開放政策による外資導入により乗り切り、輸出主導型経済政策で外貨準備高も2200億ドルにものぼり経済が安定しているようです。現在円安ウォン高で為替レートが高くなっていることから、日本等への海外旅行に人気があるとのこと。輸出により堅調な経済発展をしてきているようですが、内情は製品中核部分を日本等の海外メーカーに依存しているため、今後の課題として部品素材や根幹技術などの基礎体力の強化を図ることが上がっています。さらに、先進国の製品や技術を模倣するキャッチアップ戦略にも限界がきており、独自技術開発や強みである I T インフラなどを使い今後の成長に向け競争力の維持を図ることが期待されています。また、日本以上の少子化である韓国では今後高齢化が進み福祉産業も成長が期待できるとの見方や、サービス精神乏しい中、サービス産業の改善が進むとの見方がありました。

その日の夕食会は江南区にあるカルビ店「南浦」にて行いました。ソウルで活躍する若手サラリーマン・OL 6名の方をご招待し現地生情報の交換などを含め実施しました。この夕食会のセッティングには韓国ベネッセの原田昌尚氏（現在は日本に帰国しており当日お会いすることは



## H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

できませんでした) のご協力が甚大でした。情報交換会では韓国人の考え方や習慣、制度、生活事情など幅広く情報収集することができ、その後の視察活動にすぐに役立つことができました。また、現地採用の方も数名いて、日本人の海外での活動が拡大していると実感することができました。

二日目の訪問先はC J 社のホームショッピングです。今回の視察の目的は経済発展が進み国民所得が上がっている韓国を、生産基地ではなく日本の中小企業が販売できる市場として見ようということがあり、直接顧客に販売している会社を視察先に挙げていました。しかし、韓国商工会議所を通して頂きましたが

中々見つからず、直前になってようやく決定した次第です。C J ホームショッピングはTVショッピングをしている会社で韓国では大手であり韓国株式市場に上場しています。当日Joo Hyung, Kim副社長、リビング事業部のY.P.Lee部長、リビング＆ヘルスケアチームのYong-Deok Kimマネジャー等から直々に説明を受けました。



TVショッピングの売り方は、日本と同様、おまけをたくさんつけ割安感を出させるものでしたが、番組を製品の品質や有用性に置くのではなく、エンターテイメントに作り上げることが特徴です。ひとつの商品を販売するために1時間程度の番組を制作するということで、自前でス

タジオを5つ持ち、その内2つを見る事ができました。今後はインターネットを活用したテレビで双方向のオークションやどの時間帯でも好きな番組が楽しめる環境を整備することです。ビジョンはアジア地域でもっとも信頼があり影響力があるオンラインマーケティング会社になることであり、中国市場も視野に入れ展開していること。日本製品への興味も高く、藤井団長が岡山の繊維製

## H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

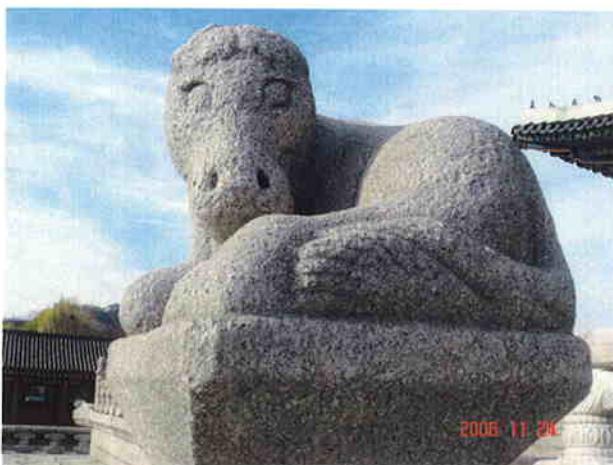
H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

造業のユニーク性を説明したところた  
いへん興味を持って頂き、岡山の中小  
企業製品で繊維や食品関係のものをど  
んどん紹介してもらいたいとの声があ  
がり、今後の展開が期待できます。

その後は景福宮やロッテ百貨店、南  
大門等を視察し、南山にあるソウルタ  
ワーからソウルの夜景を楽しみました。そして最終日は夕刻のフライトまで各自  
が自由にソウルの視察を行いました。

このような行程で無事視察を行うことができましたが、今回の視察も大勢の方  
のご協力なくしては行えませんでした。JETRO岡山の藤井様、韓国商工会議所のチ  
ョン様、ベネッセの原田様、視察先であったJETROソウルの小高様、Kim副社長を  
はじめCJの皆さま、また、ソウルで活躍している白様、石橋様、日野様、佐藤  
様、山尾様、山口様。そして、今回も同行して頂くことができませんでしたが、  
最後まで視察先との交渉をして頂きましたアジアコミュニケーションズの松井様  
にはたいへん感謝申し上げます。

さて最後に、ソウルへ行く岡山空港にて藤井団長から昨年のハノイ視察のこと  
が昨日の日経新聞に掲載されていたことを教えてもらいました。団長は早速、売  
店で昨日の新聞を頂戴しそれを渡してくれました。なんと、そこにはハノイ視察  
でお世話になったブイさんの写真が大きく載っています。記事には診断協会の視  
察がその後ベトナム政府と岡山県の経済交流のきっかけとなったと書いています。



視察団の活動が地元経済に少  
しは役立っているのだとうれ  
しく思いました。今回のソウ  
ル視察の成功は、質の高いもの  
を製造する岡山の中小企業  
が韓国市場へ販路を確保する  
ことだと思っていますので、  
今後も藤井団長を中心に活動  
を展開して参りたいと思いま  
す。

# ソウルは日本といっしょの様な 気がする。文字以外は。

서울은 일본과 함께와 같은 생각이 듈다

中原富二雄

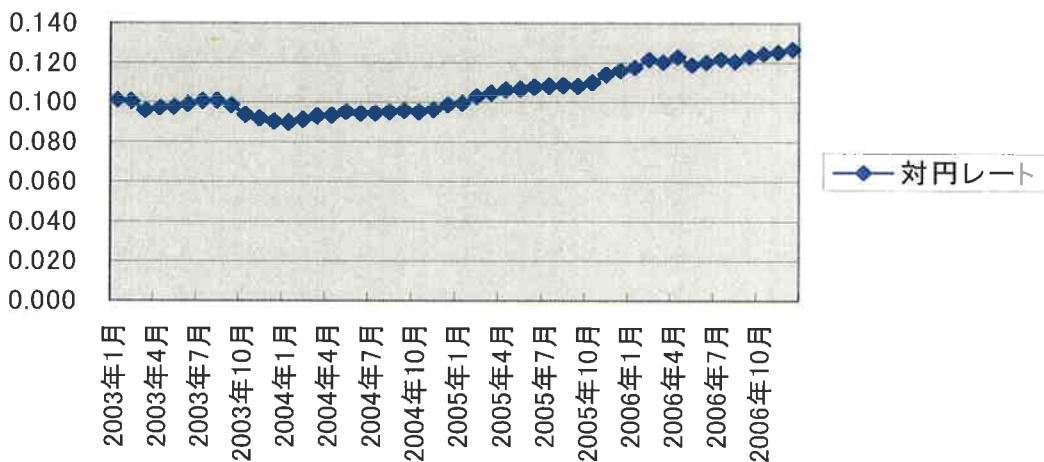
## ● 今回の視察の目的

今回のソウル視察の目的は、岡山県の中小企業の產品をソウルで売ることが可能かと言うことであった。事前の検討では、ソウルに限れば、日本の物価水準と変わらないのではないかとの事であった。

## ● ウォンと円の価値

過去に訪問したときとの一番大きな違いは為替レートであった。1000ウォンが約130円。ちなみに過去データを調べてみると

韓国ウォン対円レート月平均値の推移



2005年のはじめ頃までは1000ウォンと言われば約100円と考えて良かった訳で、今までの訪問ではソウルでの買い物は少し安いかなと言う感じであった。今回、ミネラルウォーターをホテルの喫茶やコンビニで買ったら、ブランド品は1000ウォンくらいだったと記憶している。日本で買うのとほとんど

変わらない価格と感じた。

比較するべきではないかも知れないが、ロッテデパートの別館でユニクロ、無印良品が出店しているが、価格は日本より高く感じた。お客は思ったより集まっていたが売れているかどうかはよく分からなかった。しかし、雰囲気は日本と変わらなかったように思う。もちろんレートが変われば感じ方も変わると見える。

## ● 教育

びっくりしたのは教育熱に関する話である。二極化が拡大するとの話があるが、韓国では日本以上である。日本の倍の教育費を使っているそうだ。私にはソウルの教育産業は今のところよく分からないが、何か面白いことがありそうな気がする。

## ● 県単位の広告

日本からの観光案内を2つ見かけた、  
一つは福島県。バスの横一面がスキー場の広告



もう一つは、地下鉄駅で見かけた石川県の広告。

円が安いために韓国から日本への旅行者が増えているらしい。岡山県の产品の売り込みと同時に岡山県を売る（知名度を上げる）ことも考える必要を感じた。



# 韓国研修旅行のまとめ

한국 연수 여행의 정리

有限会社アド・デザイン 平井 克江

(社)中小企業診断協会岡山県支部のご好意で2006年11月23日～25日の日程で「韓国研修旅行」へ参加させていただきました。経済の事情はメンバーのみなさんにお任せして、私はメモしたことをまとめとさせていただきます。(頼りないメモです)

岡山空港では久しぶりに皆さんとお会いして、出発前から話しがはずむ。

726便コリアンエアーでソウル着。(要した時間は1時間20分)

ソウルは寒いと事前予告があったので、コート持参。

空から日本の秋を眺める。海外の子供達が日本の山は美しいと言うが、なるほど紅葉と雲の白さのコントラストが美しい。ソウルでは交通事故が多く、またほとんどが整形しているとの事前情報がガイドブックに書いてあった。

仁川(インチャン)空港(西の端)着。本当に寒くて・・・。町まで1時間かかる。

新潟の緯度と同じで12℃～5℃。もみじが落ちて日本の四季と同じである。

韓国へ着くとすぐガイドのイ・チョンファさんから「昨日はデモがあって道路は混雑するし大変でした。」と説明を受けた。

韓国は今、景気が悪くて組合のデモがあちこちで起こっている。若者がしんどい事をやらなくなつたので企業側は外国人(ベトナム人・中国人)を雇い、工場を中国、ベトナムへ移している。結果、若い人が働く職場が無くなり失業者も多くなつた。財閥はなんでも持つてゐるが、中小企業は苦しい。また、車が増え交通事故も日本の東京よりひどい状況だそうだ。

【午後はJETROコリアを訪問】

JETROの役割は、

1. 日本企業が進出のときの手助け。
2. 既にある企業へアドバイス。
3. 日本への投資(日本で会社を作る)の手助け。

韓国には老舗が無い。(地域密着の商売は無い)

お金持ちに生まれなければ、良い会社、良い人生、良い教育は受けられない。

韓国人は白黒がはっきりしているが、日本人ははっきりしない。

## ★韓国情報

- ・ソウルに人口（約1,000万人）が集中している。  
ソウルの家1軒分でプサンでは2軒買える（ソウル3,000万円～4,000万円で川の南が一番高い）。
- ・インターネット利用者は国民の72.8%（2005）でレベルは日本と一緒にそうです。CATV加入者・携帯電話利用者が伸びている。
- ・造船は世界一で、今では日本を抜いている。
- ・16歳以上の大学生は海外へ出さないように兵役制度がある。
- ・規制緩和で一般の人でも海外の不動産へ投資できるようになった。  
(ウォン高だから日本の物件は有利だ。例=ゴルフ場)  
韓国ではゴルフ場が無いので、1回20,000円～25,000円と高い、その点、日本は半額なのでゴルフトゥアーで日本へ来るらしい。
- ・現代自動車ではストライキで一ヶ月間休む。（ごね得的なところがある。）  
(ストライキが多いので企業は海外へ生産をシフトした方が良いと思っている。)
- ・今や韓国の技術は高度になり、韓国から選択されだした。  
(その程度の技術ならもうマスターしたからいらない！)
- ・携帯の部品の7割が日本製品なので、韓国の悩みの種もある。  
現代自動車では製鉄所を作り、これからは自前でやらなければ駄目と言っている。
- ・フラッシュメモリに強い。
- ・水源には日本の企業がかなり進出している。
- ・教育関連  
学歴社会である。（血縁関係が多いので汚職が多い。）  
進学校は特定地区に集中している→不動産が高値（30坪～40坪のマンションが1億円超）  
政府が規制（安売りに課税した）→誰も土地を売らなくなった→値上がり→バブル状態。
- ・日本との人的交流があり、2002年WC以来400万人が相互で行き来している。  
日韓カラオケ大会などやっている。

## H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

### ★韓国マーケットや事業活動上の注意点、進出企業などの情報収集。

- ・経営にとって税理上不利な法律である。
- ・韓国はトップダウン。  
日本はボトムアップなので判断の遅さがハンディ（スピードに欠ける）
- ・ソウル近郊の所得層は2極化が進んでいる。  
(サムソンの役員は年収8億円で貧富の差が大きい。大卒初任給20万円)
- ・日本の強みはサービス（レストラン等のサービスがない）を徹底的にやる。
- ・品数が豊富になって、高級品が売れない。（ユニクロ・無印などが進出してきて）
- ・こうあるべきだと旗を掲げるのは危険である。（デモになる）
- ・日本と価格はほぼ一緒である。

### ★韓国企業の成長持続に向けた課題

- ◎未来の環境変化は予測が困難であり、韓国に有利な方向に展開するとは限らない。
  - ・韓米FTA（自由貿易協定）などの開放経済体制の拡大、急激なウォン高、根幹技術に対する外国企業の特許攻勢などの脅威が高まると思われる。
- ◎先進国の製品や技術の模倣により先進国を迫撃する「キャッチアップ戦略」も限界に達しようとしている。
- ◎韓国の産業成長を引き出す新たな推進力(momentum)を確保しなければならない。
  1. 新たな成長分野の発掘→従来産業の新規分野開拓。サービス産業の強化。
  2. 韓国の強みをテコとして利用。→製造業の競争力維持。ITの強みの拡大。
  3. 部品素材や根幹技術など、産業の基礎体力の強化→大型店と専門化の推進。  
有望な分野への絞込み。
  4. 規制改革、市場開放による競争促進政策の推進→競争促進と市場開放。核心的な能力の確保。

夕食は、現地日本人の方々と懇親会。お肉をはさみでちょっときん！

もう少し話がしたかったが時間切れで残念。



【2日目は、CJ社（ホームショッピング）訪問。】

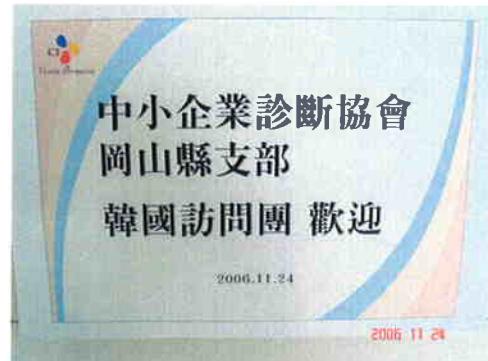
韓国商工会議所 チョンさんのガイド。

「当社を訪問していただき良い結果になれば良いと思います」と歓迎の言葉をいただく。

生活事業部（キンヨンピさん）から、ホームショッピングについて。

また、2010年のビジョンを見せていただいた。

- ・韓国No.1オンラインショッピング。ケーブルテレビ、インターネット



信頼できて影響力のあるオンライン流通マーケティングサービス会社として2010年までにアジアで一番の力をつけてみたい。

- ・ホームショッピング  
(ケーブル・カタログ・インターネット・モバイルを使って注文)

1838年第一次革命。フランスモンマルセルが百貨店を作った。

時間の節約→コンビニへ行く。

低価格→CMS } →HSN

アメリカ・ヨーロッパ・日本→グローバル・TV・ホームショッピング

韓国はCJ

### 《なぜ急に伸びたのか？》

- ・ITがベースでケーブルテレビが普及（外に出なくてもいい）

1,200万世帯にケーブルが入っている。

双方向の新しい技術と統合してゆく。

ホームページは18.3%

50分で商品を紹介している。（他は10秒）

平均年齢33歳。

TV 860/月

ETV=ウェブベースのテレビショッピング

ITV=双方向の販売

- ・アメリカと違い仲介手数料としてやっている。（在庫はもたない）

### 《扱い商品は？》

ファッショニ=生産は中国・協力会社は韓国

（インナーウェアは「カネボウ」と提携している）

キッチン・家具=中国

デジタル関係=シャープ・ソニーから仕入れている。

食品=メイドインコリア

### 《価格は？差別化は？》

ほとんどの消費者に受けるのがテレビ=安いおまけがついてくる。

50分で1億円～5億円売る。

※ナショナルブランドは価格を安く出来ないので、おまけを一杯付けるらしい。

### 《CJM.COM→ETV（動く映像）》

売り方が長く30分かけて成分を説明しているのは日本の売り方。

韓国は、エンターテイメントを50分位、楽しいを売りにしている。

動画は情報を得る手段、お客様には必要なときに計画的に売るようになっている。

アイデア、商品があってお金が無い→お互いにヒットを出し易い。

### 《商品を決める過程は》

私が担当。ベンダーがあつてMD（MiniDisc）・メール・TEL

MDをセット→チームで評価してもらう→各事業部に審査→上層部がOK→編成放送するまで3ヶ月かかる。

- ・売れるか売れないと解らない。

1,800名中の900名を対象に調査（マーケティング）

- ・サムソンと関係があるか？

サムソンとは別である。

- ・日本では小売業は難しい

### 《日本以上に少子高齢化だが、少子高齢化に対して戦略は？》

- ・所得の高い層を狙っている。日本では食品の高い物が中国で売られている。

当社では人口、経済の成長が上がるかどうかで迷っている。

- ・TV分野をUPするだろう。

1. TVは専業主婦がやっている。

2. TV、ITを結んでオーディション（アンプル）

3. グローバル化

- ・日本の商品を探しに年に1～2回マーケティングを行っている。  
輸入品で出来ないことはない。円が安くなっているので輸入にメリットがある。  
日本の品質はOKなので、中国で生産して韓国に入れることが出来る。  
アジアで一番大きいスタジオCスタジオで4台のカメラで商品を撮影。セットは撮影が終わるとすぐばらし、次の商品を撮影と同時に2商品が撮影でき、地上波を目指して作ったスタジオである。
- ・これからの時代もインターネットでしょう。  
買いたいときに思い出して買ってください。→信頼を得る。  
(いい商品を安く買ってください。)  
信頼される会社になる(社員は30代の半ばが多い)

午後は、ソウル市内視察。景福宮、ロッテ百貨店、産業地進出企業研究。

ソウルタワーへ登ると夜景が綺麗だし、トイレも超豪華な作り。

### 【3日目は、自由行動。】

ホテルの前にはデモ隊がいた。

ガイドさんから「ここはにせものです。」とはっきり言われながら連れていかれるお土産屋。

7：30食事。児玉さん、入矢さん、谷さん、私、このメンバーでショッピングへ行く。

東大门で値切ると「南大门へ行って」と言う。非常にプライドを持っている。そして、本当に職人の腕はいいそうです。

谷さんとホテルから仁寺洞の町の中を歩いた。ビールを飲みながら昼食をとる。  
うまいっ！

ギャラリーが沢山ある。韓国の作家は面白く手当たり次第にギャラリーに入ったのもいい思い出となる。韓国の作家はセンスがいい。ハングル文字がなければ、ソウルの町は東京の町中にいるような錯覚に陥る。また、ソウル市内は銀杏並木がいっぱいあったのが印象に残った。

最後にガイドさんから聞いた話をまとめると

・市役所の前の広場はワールドカップの時、赤いTシャツで応援して話題になった。

最近、市役所の前では大規模なデモがあった。

## H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

- ・東大門は築600年。26kmの城壁に囲まれていた町だったが、門のみが残った。

今は東大門市場、南大門市場となった。

- ・通りにはリ・スイシンの銅像がある。秀吉の海軍と戦って全て勝利したので、崇められている。

- ・韓国人の体感温度は低い。

- ・ノムヒョン大統領一人では政治は出来ない。

- ・韓流ブームでおばあさんが変わってきた。誰も昔とは違う。

- ・親が教えることの一番は、

1. 親孝行。

2. 結婚のときは一番に親に紹介する。（承諾を得る）

少子化は政策が悪い。

- ・教育費が高い。（完全に二極化）

- ・幼稚園から大学に入るまでに3,000万円かかる。

子供の塾代が高い。もし、塾へ行かせなかつたら遊ぶ友達がいない。

算数・国語・ピアノ・スポーツほとんど行く。学費はそれほどいらないけど塾代が高い

大学に入る理由は、良い会社に入る為、そのためにはソウルに住む、ソウルは家賃が高い。

- ・まだ、戦争が終わっていない。

北へ60km行くと北朝鮮と向かい合っている。いつ戦争になるかわからないから、韓国も軍事力がいる。韓国だけでは駄目。

高校から軍隊に入る。大学に入ってすぐ軍隊に入らなかつたら、会社には入れない。北は10年間行かなければならない。

金持ちの子供はワイロで軍隊に行かないが、後で大問題になる。

運動で優勝したら免除される。

軍隊に入るととても親孝行になる。

男同士は軍隊の話で友情を深める。反面軍隊でいじめられ、自殺する人もいたらしい。

軍の給料は一ヶ月10,000円なので小遣いにしかならない。

- ・今は寒いから地下道には浮浪者がいる。わざわざ浮浪者になってものごいする人もいる。

- ・物価は日本と同じで少しだけ安い。

H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書  
H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

- ・韓国は床暖房で便利である。マンション等、体に良くてヒーターがいらない。  
夏は日本より過ごし易い（湿気が少ない。）  
ロッテが100階以上の大きいホテルを作っている。
- ・じゃがいもの漬物がある。
- ・ごはんを食べる時も混ぜる時もスプーンを使用。器はもたないのがマナー。
- ・靴はぬいだらそのままにして、帰りがけにはそのまま履いて帰る。（日本は逆に揃える）
- ・10年前までは割り箸を使っていた。今は使い捨ての物は使わないように国がした。  
爪楊枝は日本では木だが韓国はでんぶんで出来ている。
- ・地震がないが戦争の危険がある。  
親戚が北に1,000万人いるが遭えるのは数十人しかいない。  
南には2,500万人、北は山が多い。地下資源がおおい。南は食料が豊富。
- ・バスにNOが書いてあるので行き先がわかる。
- ・新婚旅行は、タイ・グアム・サイパン（すれ違った車にリボンが飾ってあったのを見て）

【チャングムの舞台となった。王宮（景福宮）の見学会場にて】

- ・一般に人が使える文字24文字を作ったのがハングル文字。漢字は皆書けるけど、ハングル文字さえあれば不便はない。（漢字は覚えるのに時間がかかる。漢字は上流の人が使っていた。）  
ハングル文字は24文字を覚えると上下左右ばらばらにして何通りにも使える。
- ・韓国は曲線の文化。屋根=竜が横になっている形（王様は竜）  
日本は直線の文化である。
- ・部屋9つで真ん中に王の部屋
- ・昔は床暖房の為に火を焚いていた。床下には焚き口があった。

以上がメモしてあったことです。2ヶ月近く経つので自分でも解らないところがありますが、印象に残っていることを書き出してみました。おっと忘れていましたが、ホテルのバーで藤井さん、山本さんと飲んだのも思い出の一つ。最後に観光だけでは知りえることの出来ない情報をいただき、またお世話になった方々に心から感謝しつつ。

# ソウル 体感・雰感

서울 체감·잡감

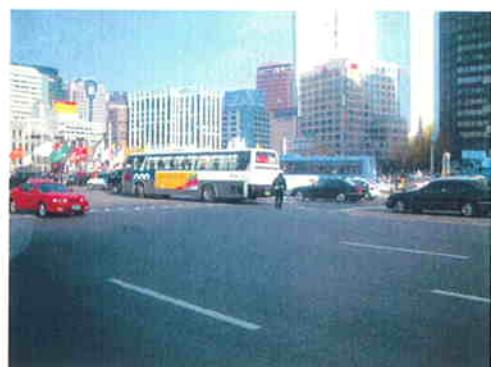
藤井 愛也

どう言う訳か今まで、韓国へ渡航する機会に恵まれなかった。また、観光としてもその機会がなかった。この度 「韓国経済事情調査」が企画されたので、このチャンスを逃してはならないと言う思いから参加させて頂いた。韓国については、ワールドカップ サッカーを通じてすぐの隣国と言う認識はあるものの、経済・工業技術面でお互いに鎬を削っている厳しい競争相手と言うイメージがあり、おばさま族が熱を上げている韓流ブームに少し冷ややかなスタンスでした。

## 本当に近いソウル

1時間少々のフライトで岡山空港から仁川国際空港へ到着。岡山空港の駐車場の利便性もあり、まことに気楽な出国であった。機中たまたま隣の席に軽装姿の女性2名がおられ、仁川国際空港経由でハワイ ホノルルに行くとのこと。仁川国際空港は乗り継ぎが極めて便利で、かつ設備が整っているので軽装でも全く不安がなく再度利用している由。昨年のレポートによれば、空港のサービス・利便性等のランキングで仁川国際空港がシンガポールのチャンギ国際空港を抜きアジアNO1となり、アジアのハブ空港の地位を確立しているとのことである。岡山からの時間距離の短さ、そして国際便への乗り継ぎの利便性等を考えれば、誰でもこのルートを使ってメリットを享受したいと思うのは当然のことであろう。

仁川からソウルまでの高速道路の整備は良くなされており、経済発展の著しい韓国の状況を表している。また車も非常に多く、交通事故の発生率は日本よりも高いとのことである。ソウル市街に近づくにつれ、近代都市の顔が現れるとともに漢江のゆったりとした流れが街並みと良く調和して美しい景色を作り出していた。



## ソウル市内のイチョウ並木

ソウル訪問の11月下旬の時期からすれば既に初冬のはずであるが、暖冬の影響のせいか紅葉が未だ残っており、イチョウ街路樹の黄色が見事であった。ソウル市内にはあちこちにイチョウ並木が見られ、良く手入れされていた。果実による公害が出ないよう配慮されて植樹されているとのこと。



北朝鮮によるミサイル発射、核実験の険しい動きのある中で、ソウルは見た限りではその緊張感は全く感じられなかった。街なかの案内標識はハングルと併せて英語、中国語の表記はあるものの、日本語はなかった。内心 温度差を感じるとともに、地についた友好関係の大ささを思った。

## 中国の経済発展に隣国としてともに大きく関与

韓国、日本両国とも今日、中国の経済と大きく係って協力関係が成り立っていることは周知の通りである。韓国の2005年の貿易収支は232億ドルの黒字（輸出 2844億ドル、輸入 2612億ドル）。韓国の対中国貿易は近年拡大し2003年に輸出先として第1位となり、2004年に輸入先として第2位となっている。なお、輸入先の第1位は日本である。また、日本の輸出先の第1位は中国であり、かつての米国に入れ替わっている。日韓ともに経済発展目覚しい中国との経済協力関係抜きには考えられなくなっている。日韓の歩みを振り返ると、お互いに資源が乏しく技術力、工業力等により製品を生産し、輸出によって経済成長をする貿易立国として発展してきた。

韓国の産業構造は加工組立を行い完成品を輸出するものであるが、部品・素材等の中間材を日本等から輸入している。従って輸出が増加すれば、輸入が増える構造となっている。現状まさに日、韓、中国が補完しあう経済・産業関係となっている。

日、韓は経済・社会体制が同じ枠組みであり今後相互の建設的な発展を考えれば、もっと前向きな友好関係を官・民レベルで強化して行く必要を感じる。

## 韓国で聞いた話「モノ創りの原点 職人技」

韓国では優秀な職人が育たないそうである。理由の1として、伝統を引き継ぐ職人がいない。

1592年、豊臣秀吉の朝鮮出兵、文禄・慶長の役の際 豊臣軍が朝鮮の優秀な職人・匠達を沢山連れ帰ったので韓国では腕の良い職人がいなくなってしまった。

理由の2として 韓国では志向として、マネジメントする立場に立つ者が好ましいとされる風潮がある。職人・匠が余り好まれない。学歴社会である。

2つの理由から、今日 技術力に優れた職人技を有する中小企業が育っていない由。ハイテク、メカトロニクス等高度な技術を要する製品の部品、素材等を作れる中小企業が少ないとから、日本よりこの中間財等を輸入せざるを得なくなっている。とのことである。

## 経済・観光・文化の更なる交流を！「本当に近くて近い国を目指して」

重ねて述べるまでもなく近い隣国 韓国であるが、友好、交流、協力の面で未だ遠い国の実状がある。民主主義、市場経済の体制は中国と異なり、日・韓は同じである。もっと交流が出来れば、互いに得るものは大きい。

例えばエクセレントな中小企業同士の交流、また文化の近親性に支えられているので観光交流はもっと自然体で深くなっていくのが当然ではなかろうか。



映画の韓流ブームが起きているが、もっと積極的で幅広い文化交流を官・民レベルで強くおし進める時に来ていると思う。

今回の視察を通して、何か好きになった韓国である。

# 韓国経済視察レポート

한국 경제 시찰 리포트

増本 好孝

インチョン空港からソウルへ。

ここ2年で3度目の訪韓となるが、綺麗な銀杏並木の紅葉を見るのは初めて。  
夕食。

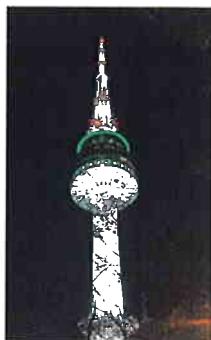
佐藤さんの配慮で在ソウルの日本人女性たちが同席。宝塚市内のレース会社が中国青島に設立した現地法人に採用され、そこからのソウル駐在として来ているという独身女性がいた。若い人のバイタリティとその国際性に驚く。でもこれは、ただ単に私の頭が古いだけか。

CJホームショッピング。

英語の会社紹介ビデオを見せられる。なぜ日本語バージョンを作らないのか。日本企業との関係を深めれば色々な新しい展開が出てくるのになあ、と思うが、これは天に唾する行為。我が身を振り返れば同じことをしている。同席した育ちも頭も良さそうなお姉さんが印象的。

南山タワー。

随分、洗練されて落ち着いてきたなあ。都会的な夜景もさることながら、私の周りで私と同じように夜景を楽しんでいる韓国の人々の立ち振る舞いを見ていて、つくづくそう思った。なんというか、一昔前は祖国の興隆を誇る感情があからさまに現れた表情。今は、それを当然のことと受け入れている余裕の表情。そんな感じかな。



清渓川（チョンゲチョン）。



生活排水でドブ川化していたのを、景観上・衛生上よろしくないとこのことで暗渠にし、その上に高架道路を通していった場所を、再開発して復元したところ。自然→開発（人工的無機質）→再開発（人工的有機質）。この流れが日本の倍くらいのスピードで進んでいる感じ。韓国のメリットはすぐ近くに追いつき追い越せの対象があることか。

## H18年度 韓国・ソウル海外視察報告書

H18 연도 한국·서울 해외 시찰 보고서

以上、薄れた記憶を引っ張り出しながら書いてみた。でも、これでは、経済視察のレポートにならないので、最後に、それらしいことを一言。

もう二昔も前の円高華やかし頃のことだが、県内の農機具企業が「韓国に出て行ったけど、向こうにすぐまねされて同じものを作られた。韓国は信頼できない。」という話を聞いたことがある。まあこれは、元々その技術がすぐまねのできる程度のものだったということに過ぎず、それをもって韓国を非難するのは的はずれで、そんなことは中国では日常茶飯だし、ベトナムでもインドでも朝飯前だろうと思う。労働力や市場を求めて外国に出て行くのは必然なのだが、向こうに根付く意識を持っていなければ、結局、中国→ベトナム→インド→アフリカと、あてどりの大移動を余儀なくされることとなる。

で、何が言いたいかというと、韓国との付き合いを考えた場合、地域に根付くも何も一時間ほどの距離だし、サブカルチャー面での同質化の状況などを踏まえると、日常的な国内企業との業務提携であるとか、国内での生産拠点の立地場所の選定であるとか、そういう感覚で捉えるべきじゃないかということ。役所の世界の流行り言葉で言うと「協働」ということになる。今回訪問した「CJ」にしても、あれを吹き替えしてそのまま日本で流しても、結構、面白いことになるんじゃないかなという気もする（甘いか？）。別のマーケットと考えない方がいい。そうすれば、色々な可能性が見えてくるように思う。

と、まあ、苦し紛れにひねり出した感もなきにしもあらずですが、韓国の経済事情をかいま見て、このようなことを思った次第であります。

とは言っても、国民性の違いはやはり厳然とあって、それが、大違いでなく微妙な相違で、無視するか配慮するかが悩ましく、いずれにしても、それが吉と出るか凶と出るか結果でしか分からない部分があるところが難しいんですけどねえ。これは実感。



# 韓国視察報告

한국 시찰 보고

松田 真司

今回、はじめての海外視察参加です。今年の視察地韓国ソウルには恥ずかしながらまだ一度も行ったことがなかったので、身近な海外市場を見るいい機会と思い参加させていただきました。

視察企業が決まったのが直前でしたが、結果的にC J ホームショッピングという急成長企業のビジネスを拝見でき、J T R Oコリアの訪問も合わせて非常に有意義な視察でした。関係者の方々のお骨折りと先輩方が築いた中小企業診断士の信用に感謝します。

以下、視察で収集した情報などを羅列してみます

ガイドの李さんより

## 【韓国事情】

- ウォン高（対円相場はここ数ヶ月で約30%以上のウォン高。それを聞いて到着したとたんの旅行者は損した気分になりましたが韓国から日本への旅行者が増え、日本製品の購買意欲は上昇しているとのことです）
- 不動産ブームでマンションなどが値上がりし建築ラッシュ
- 好景気もありガソリンが高騰（180円／リットル）
- ベトナム・カンボジアから低賃金の労働力の流入
- 大手企業などが中国へ製造拠点を移し、工場・雇用が減少
- 若い世代の就職難

J T R Oコリアの小高氏より

## 【J T R Oコリアの役割】

- 日本から韓国への投資支援
- 韓国へ進出した日本企業の法律・税務などの支援
- 韓国から日本への企業の進出支援（投資・会社設立など）

## 【社会情勢】

- ソウルへの人口集中：韓国の人口 4 8 0 0 万人に対しソウル市の人口 1 0 0 0 万人、周辺の人口を含めると全人口の 4 8 %がソウル圏に住んでいます。第二の都市プサンの人口が 3 8 0 万人で増加せずソウルへの一極集中が進んでいます。
- 人口集中対策：公州など遠隔地に政府機関の移転を計画するがその地域の不動産が高騰するなど利権問題が新たに発生しています。
- 失業問題：新卒者の就職難が続き、ノムヒョン大統領の人気がどん底。
- 主要産業：①自動車、現代自動車 3 6 0 万台/年 ②半導体、サムソン電子 ③携帯電話 ④造船業、生産量世界第一位。
- 所得の格差：日本に比べ大手企業の役員等と一般労働者の所得の差が激しい（大手企業の役員には年収 8 億円以上の報酬だとか）。大学卒初任給が 2 0 万円～3 0 万円と日本並みの水準になっていますが、一般労働者の生活はそう楽ではないのかもしれません。我々の滞在中にも大規模な労働者のデモが行われていました。

## 感 想

C J ホームショッピング（テレビショッピングとインターネット通販を駆使して急成長を遂げている企業、売上高 約 3 0 0 0 億円）に企業訪問した時のことです。この企業の事業内容・業況については参加した皆さんが詳しく書かれると思うので感想だけ記載します。



まず、信頼を大切にするということを力説されていました。当社の扱う商品は間違いないという信頼を築くことに重点を置いています。国が違えどもしっかりした基本ポリシーを持つ企業の強さを感じました。



良い商品を発掘したい、日本の商品で何か勧められるものはないかという意欲の強さにも驚かされました。すぐにでも商談に結び付けたいような意気込み裏に、日本製品は品質がよいという信用と今後のブームは日本から発生するという関心の強さを実感しました。

# ソウルの静かな朝

서울의 조용한 아침

山本 督憲

昨年は真夏にベトナム、香港、中国（深セン）とまわって、発展する東南アジアの熱風を存分に体に浴びた。最後に行ったのは韓国（ソウル）、季節は晩秋。ボプラ並木の落葉が風に舞っていた。過激で有名なソウルのデモ隊も街の風景に溶け込んでいる。ハングル文字がなければまるで東京の街角。ベトナムの街を埋め尽くすオートバイの群れや物売りのたくましさ、香港の高層ビルと止めようもなく膨張した猥雑な歓楽街、深センの果てしない都市化を体の芯まで感じた後では、ソウルの人波も雜踏もハングルも至って静かである。

沸き立つような成長アジアの東端に位置する日本と韓国。一足先に人口減少社会を迎えた日本は成長の限界に直面し、悩みは深い。出生率1.08の韓国はいつか日本を追い越して老いていくのだろうか。両国は民主主義を国是とし急速な発展を遂げたが、利権と利害調整に明け暮れ、すべてが遅々として進まない現実に、共産国家のスピードを一面うらやましく思う。

世界を見渡しても隣国同士は案外仲が悪いそうだが、歴史認識の中で政治が絡むとどうもいけない。民主主義体制（時間がかかるが大失敗少ないといわれる？）を共有する日本と韓国が、どうにか折り合いをつけながら、お互いの歴史・文化を尊重し合える仲になりたいものだ。“百聞は一見にしかず”を実感しながら、私は便利になった岡山空港に降り立った。



# 어서 오십시오 서울에

---



700-803 岡山県岡山市北方1-1-9

社団法人中小企業診断協会岡山県支部

TEL 086-225-4552 FAX 086-225-4554